

山形県特産果樹の受粉・受精機構に関する研究

安全農産物生産学コース

松本 大生 助教 MATSUMOTO, Daiki



キーワード：自家不和合性，オウトウ，アケビ

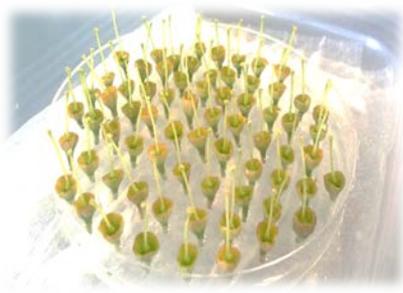
専門分野：果樹園芸学

連絡先Email：daiki@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

研究内容

多くの植物において、果実が実るためには花の受精が必須です。しかしながら植物種によっては、自分の花粉では受粉しても受精できない性質（自家不和合性）をもつものがあります。山形県特産果樹であるオウトウやアケビをはじめ、いくつかの果樹はこの自家不和合性をもっています。これらの果樹を栽培するうえでは、人工受粉や受粉樹混植といった自家不和合性対策をしなければ安定した果実生産は望めません。

現在、オウトウとアケビの自家不和合性について分子生物学的手法に基づいた研究に取り組んでおり、その精緻な機構の解明と研究成果の果樹栽培への応用を目指しています。



左図：オウトウの受粉雌ずいのサンプル調整

中央図：自家不和合性を打破するための、オウトウ花粉の組換え実験

右図：アケビにおける人工受粉試験